

未来に繋ぐ記憶と記録

～レコード・マネジメント／アーカイブズ全国大会

日時：2013年9月29日（日）11:00～19:30

会場：学習院創立百周年記念会館（入場無料）

（JR 山手線・目白駅下車、正門よりお入り下さい）

東日本大震災、公文書管理法の施行、さらにはビッグデータと呼ばれる情報の爆発的な増加等、レコード・マネジメントとアーカイブズを取り巻く環境は大きく変わろうとしています。かかる中、国民共有の知的資源である公文書、地域の歴史を伝える民間史料、そして企業競争力の源泉として活用される企業活動の記録等の社会的意義が広く認知されることが望まれます。

関連分野の実務家・研究者は、垣根を越えてレコード・マネジメントとアーカイブズの発展に力を結集する時です。最新の知見を吸収し、具体的な題材について集中的な議論を喚起する場となることを期待し、関係者が一堂に会する全国大会を開催致します。

○プログラム

11:00 開会・主催者代表挨拶

11:10 来賓ご挨拶

衆議院議員 上川 陽子氏

国立公文書館長 加藤 丈夫氏

11:30～12:10 基調講演1 「ビッグデータとアーカイブ」

国立情報学研究所長 喜連川 優氏

12:10～12:50 基調講演2 「今、記録管理とアーカイブズに何が望まれるか」

前国立公文書館長 高山 正也氏

14:00～15:30 テーマ討議1 「持続可能な電子記録保存の課題と展望」

問題提起：木村 道弘氏（日本情報経済社会推進協会 主席研究員）

15:45～17:15 テーマ討議2 「レコードキーピング時代の人材育成」

問題提起：岡崎 敦氏（九州大学大学院ライブラリーサイエンス専攻教授）

主催：レコード・マネジメント／アーカイブズ全国大会実行委員会

共催：ARMA International 東京支部、企業史料協議会、記録管理学会、日本アーカイブズ学会

日本画像情報マネジメント協会、電子記録マネジメントコンソーシアム

協賛：日本経済新聞社、日本経営協会

後援：国立公文書館